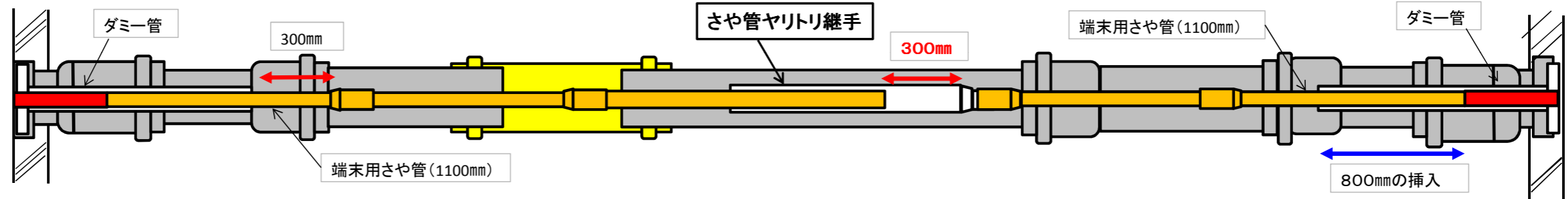


⚠ さや管ヤリトリ継手の施工方法の注意点

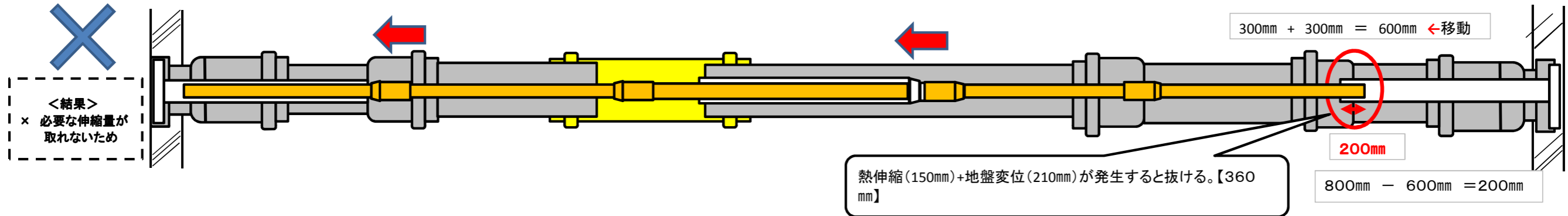
- 1 ダミー管の設置は、1路線で1箇所とする。
- 2 ダミー管を使用しない片方は、端末用さや管を必ず奥まで差し込む事とする。
- 3 ロータス管には、端末用さや管(1100mm)を必ず使用する。【最大移動を想定した場合、ストッパーとなる為】
- 4 ハンドホール間(1路線)でさや管ヤリトリ継手は1箇所の使用とする。2箇所以上の使用は不可とする。
- 5 さや管ヤリトリ継手は、さや管の補修目的には使用不可とする。
- 6 さや管ヤリトリ継手の切断使用は厳禁です。また、調整管の長さ寸法は厳守でお願いします。

【ダミー管の設置は、1路線で1箇所の理由】

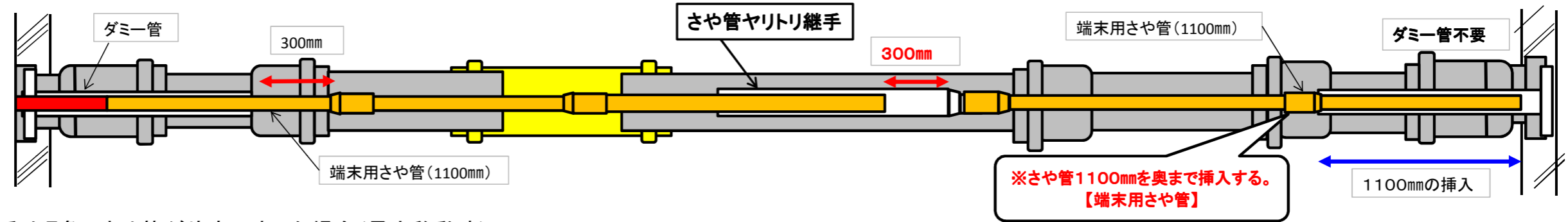
● 起点側、終点側ともにダミー管を使用の場合



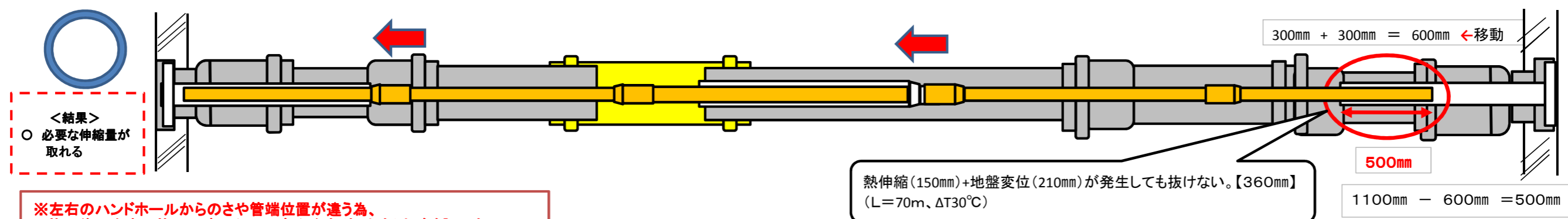
<波乗り現象でさや管が片方に寄った場合(最大移動時)>



◎ 片方のみダミー管を使用



<波乗り現象でさや管が片方に寄った場合(最大移動時)>



※左右のハンドホールからのさや管端位置が違う為、
施工後の出来形管理は速やかに工事発注者(担当者)とご確認下さい。
【別紙 出来形管理確認図 参照】